

【開発者の緊急提言】

木造住宅専用「これだけはやっておかなければの耐震対策」

-23万円のできる耐震補強-

東日本大震災の発生を受けて、今後「日本全国どこも危ない!」、地震の場所や時期などは予測不可能との衝撃的提言が東大の教授から発表されました。

私は、阪神淡路大震災で悲惨な経験をして以来、二度と同じ経験をしてほしくないと、「安くて、簡単で、強い」耐震補強の開発、販売、施工に日々努力してきました。

この度の東日本大地震も阪神淡路大震災同様、木造住宅倒壊の原因の70%以上は「柱のほぞ抜け」です。地震のときに「柱のほぞ抜け」が発生すると、家族は避難する間もないまま倒壊した家の中で命を落としてしまうケースが多くなってしまいます。それが地震の怖さです。

ですから、古い木造住宅にお住まいの方は、その「ほぞ抜け」を防ぎ、命だけは守りましょう。私たちが開発した耐震補強パワープレートは、その「ほぞ抜け」防止耐震補強金具です。

製品開発において、私たちは「強い」のはもちろんのこと、「簡単」そして何より「安い」に、とことんこだわってきました。

それは何故かというと、値段が高いと普及しないからです。

現在、耐震対策の助成金等が各地区の行政機関で発表されていますが、手続きが複雑で申請の時間がかかりすぎる。また、申請したとしても予算の関係で認可されないなどの問題が多いのが現状です。

一例ですが、助成金の30万が認められる為には、320万の工事費がかかる耐震補強を、指定された工事業者に頼まなければならないとの事。結局何ヶ月先かに受け取る30万円の為に、290万は先に負担しなければならないのです。

今後、いつ来るかわからない地震に備えて、最低限命を守る為の「木造住宅の耐震対策」はなんとしても **早急に普及させていかななくてはならない**。それは、阪神・淡路大震災を経験した者として、建築業界にいる者として、実際の地震下において古い木造住宅の被害を目の当たりにしてきた者の責務だと考えています。そしてこの度、一日でも早く、一件でも多くの家に施工する事が私達の急務だと考え、直接販売、施工をスタートする事になりました。

これからは、「より安くて、簡単で、強い」耐震補強の開発は勿論、販売、施工も続けていきたいと強く思っています。

平成23年4月15日
株式会社フルハウス
代表取締役 吉山 栄起